

## 指定管理者制度導入施設の第三者評価結果【対象年度:令和元年度】

### 1 評価対象施設

施設名	長野県県民文化会館(ホクト文化ホール)	所管部・課	県民文化部 文化政策課
指定管理者	一般財団法人 長野県文化振興事業団	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日

### 2 評価者(敬称略,五十音順)

評価者名	役職等	備考
尾崎 明子	有限会社オフィス繭 代表取締役	利用者代表
篠崎 友宏	公認会計士	専門家
西 一夫	信州大学教育学部教授	指定管理者選定会議構成員
濱 民恵	社会保険労務士	専門家
山岸 健二	長野市文化スポーツ振興部文化芸術課長	地元市町村関係者

### 3 評価の実施状況

年月日	場所	内容
令和2年11月18日 9:30～12:00	長野県県民文化会館 (長野市若里一丁目1番3号)	令和元年度の管理運営状況及び県のモニタリング状況について

### 4 評価結果

※項目は施設の状況等に応じ加除修正してください。

項目	指摘・意見等	左記への対応方針
施設の目的に沿った管理運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基本協定書、仕様書及び年度計画書に基づき適切に管理運営が実施されていると認められる。</li> <li>●仕様書等の内容を上回る成果が出るよう、更に優れた管理運営の方策として、地域の文化芸術の拠点として、県民文化会館でなければならない世代や市町村の枠を超えた幅広い取組を管理運営の中で工夫してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域芸術文化の拠点に相応しい、適正な管理運営に努めてまいります。(指定管理者)</li> </ul>
平等な利用の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>●利用したい者に平等な機会が与えられているかという点について問題はなく、概ね平等な利用が確保できていると認められる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●平等な利用の確保に、引き続き努めてまいります。(指定管理者)</li> </ul>
利用者サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>●午前9時前からの利用を可能としていることや、学生応援割引の実施など、柔軟に対応されている。施設面でも客席、楽屋等が改修され、観覧者だけでなく出演者(貸館利用者)の環境改善にも取り組まれていることは高く評価できる。</li> <li>●概ね利用者の要望に応えられている。学生応援割引について学生に限らず内容を検討し、可能な限り利用を認めていただければ、利用率(収入)のアップにつながるのではと思う。よい取組なので、周知方法を工夫することにより、一層の促進を期待したい。</li> <li>●利用希望者に対してウェブによる募集や抽選という手法が取られていない点は、現在において当然あると思われる要望に応えるという意味で課題があると思う。また、利用申込に当たってホームページをスマートフォン対応で表示することは、利用者サービスでかなり必要性が高いことのように思われるので、対応されるべきと思う。</li> <li>●利用申込において、ウェブの活用ができるようになると、24時間都合のよい時間に利用申込みができ、利用者にとって調整し易いと思う。</li> <li>●フェイスブックと連動させるなど、SNSでの申込方法の確立も早急に行ってほしい。</li> <li>●利用1年前の申し込み受付初日については、申込者が抽選に参加しやすいよう、平日・日中以外での受付についての検討や、直接来館しなくても行える方法など、平等性が更に高められる方策も検討してほしい。</li> <li>●ホームページをもう少し見やすく充実したものにするともに、掲載項目を増やすなど情報発信の幅を拡げてほしい。そのために必要な予算の確保もお願いしたい。</li> <li>●施設内はホワイエが充実しており、授乳室・点字・車椅子対応があり、控室の改修工事もされ、備品・シャワールーム・ソファ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ホームページは、スマートフォンにも対応した見やすいデザインに改修してまいります。(指定管理者)</li> <li>●ウェブによる利用申込については、システム改修を伴うことから、ウェブに不慣れな高齢者の来館申込も多い現状も踏まえつつ、使いやすく平等な利用申込も担保できるよう、県や他の県立文化会館とともに検討してまいります。(指定管理者)</li> <li>●利用促進や地域経済活性化につながるような情報発信のあり方や利用申込、情報発信におけるSNSの活用について検討してまいります。</li> <li>●駐車場の有料化については、スマートフォンを通じた駐車可否情報の提供や周辺駐車場の案内など利用者向けサービスも含めて、県とともに検討してまいります。(指定管理者)</li> <li>●貸館利用のお客様からの利用アンケートについては、利用後にご提出いただくようお願いし、サービスの改善と利用拡大に役立ててまいります。(指定管理者)</li> <li>●バリアフリー対応については、引き続き、設備設置者である県と連携し、適切に対応してまいります。(指定管理者)</li> </ul>

	<p>ベッド等も整備されるなど、予算の中でサービス向上に努めている。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●長野駅や駐車場からの導線案内の工夫やSNSでの情報発信、バス運行との連携について検討してほしい。</li><li>●駐車場については、基本的にはホールで催事が予定されている場合は県民文化会館利用者を優先すべきではないかと思うので、駐車場の有料化を考えたかどうか。それと同時に周辺の駐車場の案内をネットで検索できるようにしてほしい。</li><li>●サービス向上のためのアンケートについては、アンケート箱の設置に留まらず、貸館利用者に事後アンケートを実施するなど、より積極的に声を集め、更なる改善につなげてほしい。</li><li>●音楽系の団体の全国大会の開催などの貸館事業は地域経済にも波及効果があるので、組織的な連携を取りながら情報発信を進めてほしい。</li><li>●バリアフリー対応については、今後も障がい者への配慮事項を更新の都度確認し、適切な対応を引き続き行ってほしい。</li><li>●施設の改修により幅広い利用が可能になったことを明示し、今後の利用促進につなげてほしい。</li></ul>	
自主事業	<ul style="list-style-type: none"><li>●多様な年齢層に向けた事業企画が見られる点が高く評価できるので、継続と充実をお願いしたい。</li><li>●台風19号の影響に加え、コロナ感染予防の自粛の中、大・中・小ホールの特色が活かされた事業の取組が行われている。</li><li>●幅広い客層を意識してプログラムを組まれているが、マンネリ化している部分もあるように思う。ウィーン楽友協会との提携事業も、もうひと工夫が欲しい。</li><li>●年末の「第九」の演奏会も定着してきていること、そしてソリストに地元縁のある方が参加されていることは良いことだと思う。ただ、オーケストラは今までプロオケを招いての公演だったが、長野市をはじめ地元いくつかのオーケストラがあるので、それぞれに声をかけオーディションでメンバーを募り編成したらいかがか。</li><li>●「ホールとあそぼ」「全部見せます！ぶたいうら探検隊」の企画では館内のバックヤード探検などの工夫もあると、キャリア教育の観点でよいのではないか。</li><li>●多数のイベントが企画実施されており、より多くの自主事業が企画実施されることを期待する。また、ジャンルについてはクラシック系音楽が中心に企画されがちと思うが、ライブのような取り組みもできているので、より幅広い音楽ジャンルにおいて事業化できればよりよいと思う。</li><li>●クラシック音楽から伝統芸能や大衆演芸まで幅広く自主事業を実施し、多くの県民に文化芸術に触れる機会を提供していることは高く評価できる。しかし、自主事業の多くは音楽系イベントと見受けられるため、リニューアルされた小ホールも積極的に活用し、文化芸術基本法第11条及び第12条に規定する芸能や生活文化・国民娯楽などの文化芸術にも取り組まれ、更なる裾野の拡大につながる事業を実施されることを期待したい。</li><li>●地域の伝統芸能講座等の企画運営について、教育的な面からも、一層の充実を目指してほしい。</li><li>●地域文化の保存、育成、普及のために、継続的に伝統芸能事業を運営したり、積極的に成果発表や情報発信を行うなどして、地域文化への重点的な取組が見える化されるようお願いしたい。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>●自主事業については、限られた財源の中で開催しておりますが、広く県民のニーズに応えた、幅広い芸術・芸能ジャンルについて企画実施できるよう努めてまいります。また、既存事業については、お客様アンケート結果に基づき、随時リニューアルを図っているところですが、引き続き企画内容の見直しを進め、より一層充実した企画を展開してまいります。(指定管理者)</li><li>●「全部見せます！ぶたいうら探検隊」では、楽屋やステージ下の奈落見学から音響室や調光室での模擬操作などホールのバックヤードを体験する内容で開催しており、舞台演出や技術に興味を抱く児童生徒にも大変ご好評をいただいております。引き続き、現状に甘んじることなく、一層の充実を図ります。(指定管理者)</li><li>●地域の伝統芸能の普及につながる取組を今後とも展開してまいります。(指定管理者)</li></ul>
職員・管理体制	<ul style="list-style-type: none"><li>●仕様書及び年度計画書に基づき、適正に職員配置が行われていると認められる。</li><li>●長時間かつ不規則な勤務が求められることが多い業務形態であることから、職員の健康管理については、引き続き十分に留意されたい。</li><li>●イベントに合わせた勤務時間・休日・休暇の調整、確保等について適正であった。更に両立支援等助成金の活用も確実にされていた。令和3年4月1日から「同一労働・同一賃金」の施行もある。嘱託・臨時の職員がいるので、再度確認をお願いする。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>●労働基準法を遵守し、ホール運営、事業実施に携わる職員が健康で、いきいきと働きやすい職場づくりに努めてまいります。(指定管理者)</li></ul>

(様式3)

収支状況	<p>●令和元年度は東日本台風の影響による利用収入の減などがあるが、概ね効率的な運営に取り組んでいると認められる。ただし、自主事業において入場券販売が苦戦し予算に不足が生じている例があることから、民業を圧迫しない範囲において安価かつ適正な価格を設定し、支出に見合う収入を確保した上で事業を実施されることを望む。</p> <p>●厳しい状況の中よく取り組んでいる。入場券販売に苦戦した例があったようだが、収入確保の観点から、自主事業を実施する際には、周辺類似施設の実施内容を踏まえて事業を決定することも必要かと思う。</p> <p>●予算実績比較の限りにおいて管理運営経費実績は予算に比して抑えられているが、これはそのほとんどが人件費の予算比減少によるものである。この点についてお伺いしたところ、これは当期に3名の退職者が出たことがその理由であるとのことであり、令和2年度において補充されたとお伺いしている。この点に関して特異なところは見受けられなかった。その他自主事業収支や利用料収入の目標額に関して質問した事項についても特異な点は見受けられず、適切な運営が行われているものと思われる。</p>	<p>●自主事業において収入確保に努めるとともに、管理運営全般においても収支均衡した健全な財務運営に努めてまいります。(指定管理者)</p>
総合評価	<p>●仕様書等の内容等についての成果があり、概ね適正な管理運営が行われていると認められる。</p> <p>●地域文化芸術の拠点となる歴史ある会館のため、老朽化する施設の改修工事、時代と共に変化する情報発信の方法等、課題と費用面の検討が多々あるが、各項目については概ね仕様書等の内容の成果があり運営が行われている。</p> <p>●ホクト文化ホールは長野県民にとっての旗艦的なホールであり、一般演者の憧れの舞台であることを自覚され、2000席規模の大ホールの特徴を生かした魅力的な事業をより積極的に実施されることに加え、中ホール・小ホールそれぞれの特性を生かした幅広い文化芸術事業を展開され、県民が気軽に観劇できることに加え、文化芸術活動の発表の場としても、引き続き環境を整えていただくことを期待する。</p>	<p>●長野県の文化芸術拠点に相応しい管理運営、サービスの提供に、引き続き努めてまいります。(指定管理者)</p> <p>●今後も仕様書等で定められた管理運営業務が適正に実施されるよう、指定管理者と連携して取組を進めてまいります。(県)</p>